

輸血は最小限に

- 患者の全身状態および症状を改善しうる必要最小限の赤血球輸血とする
- 輸血によりHLA抗体の増加が報告されており、将来臓器移植を受ける可能性のある患者への赤血球輸血は慎重にすべきである

赤血球輸血が必要な例

- 貧血特有の症候や症状を有する重症貧血患者
- 急性血液喪失に関連して不安定な血液循環動態を呈する患者
- 出血量の多い手術患者
- 極端なESA低反応性患者
- ESAに随伴する副作用のために十分なESA投与が困難な患者